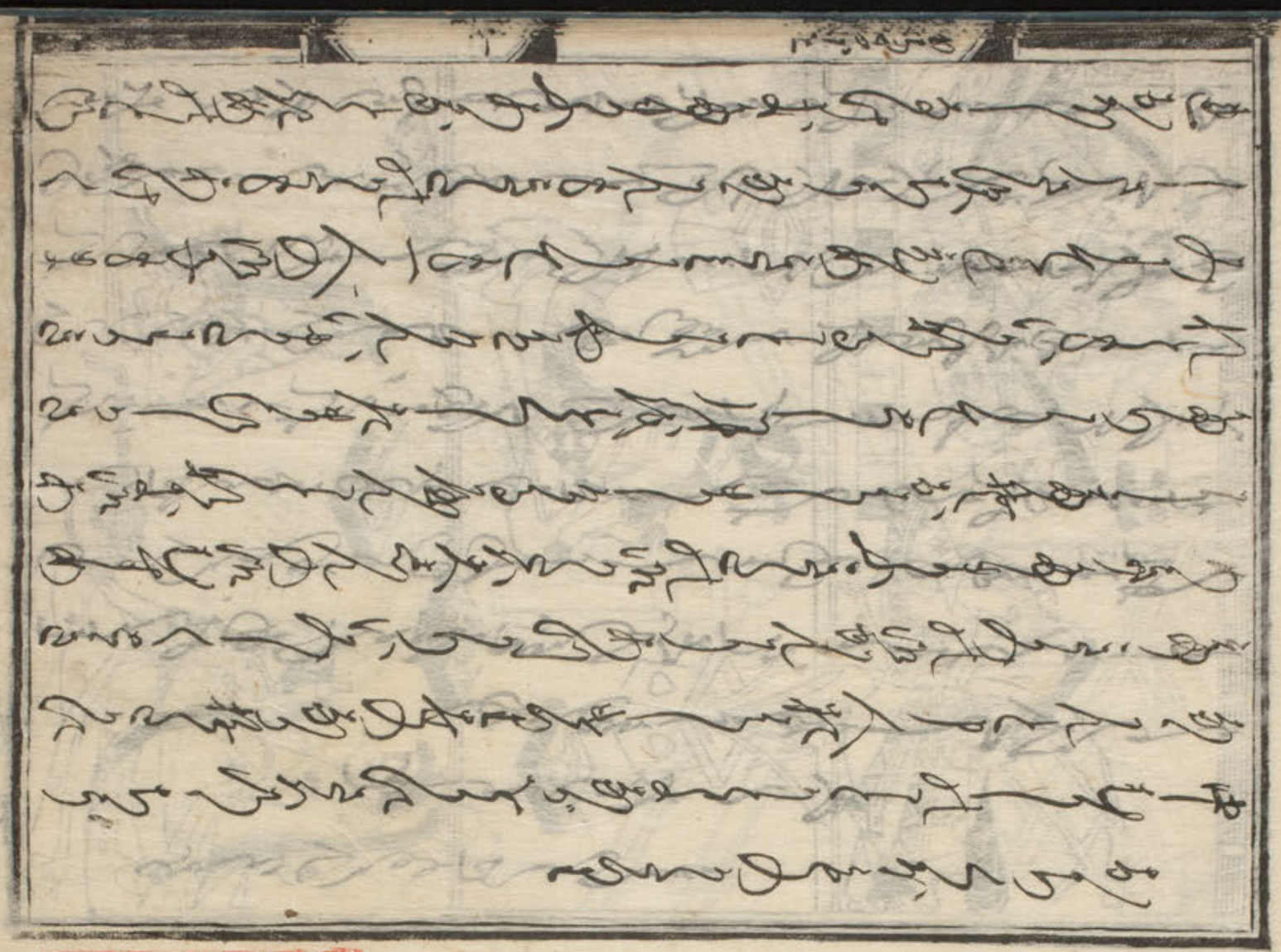
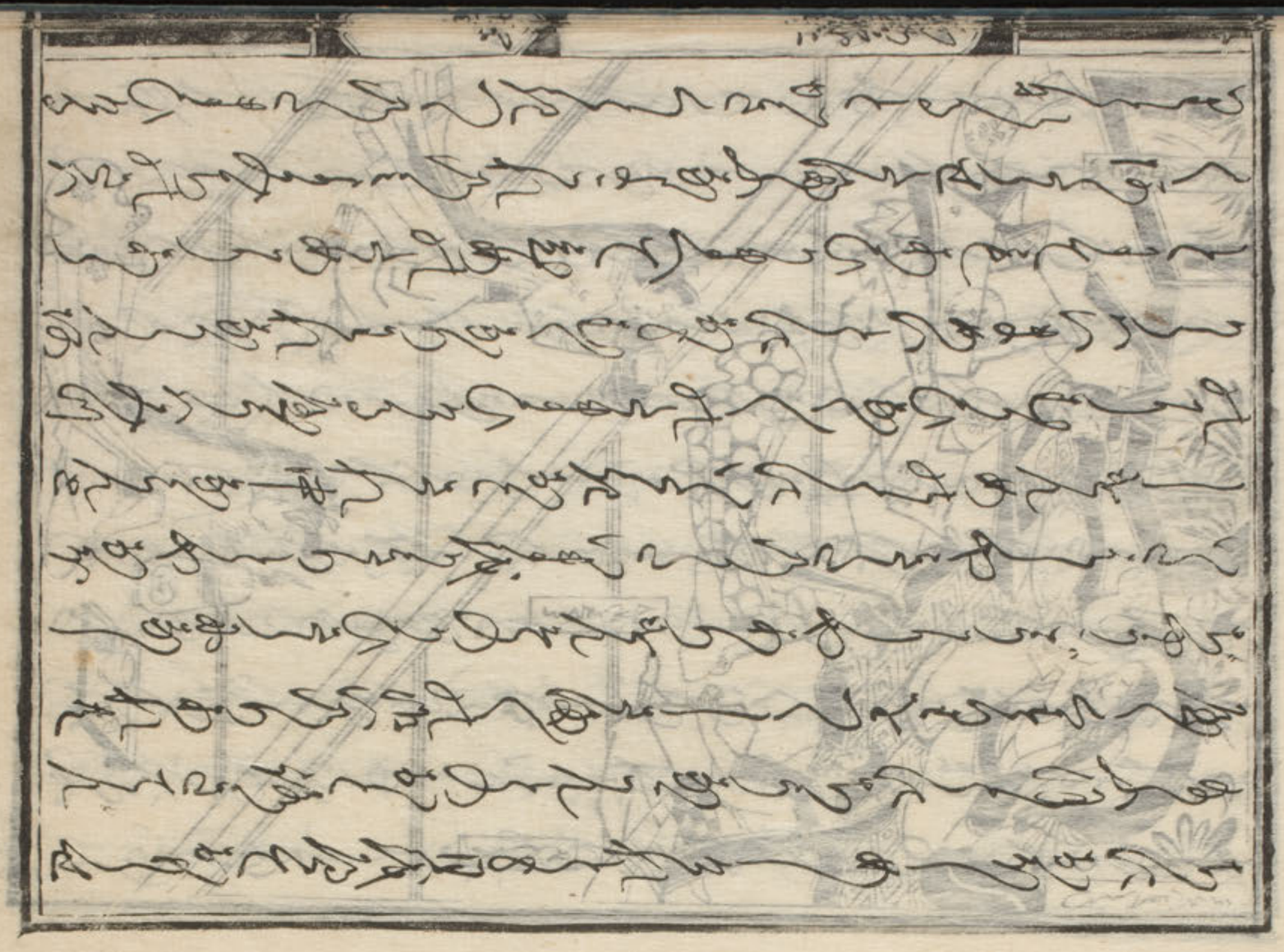
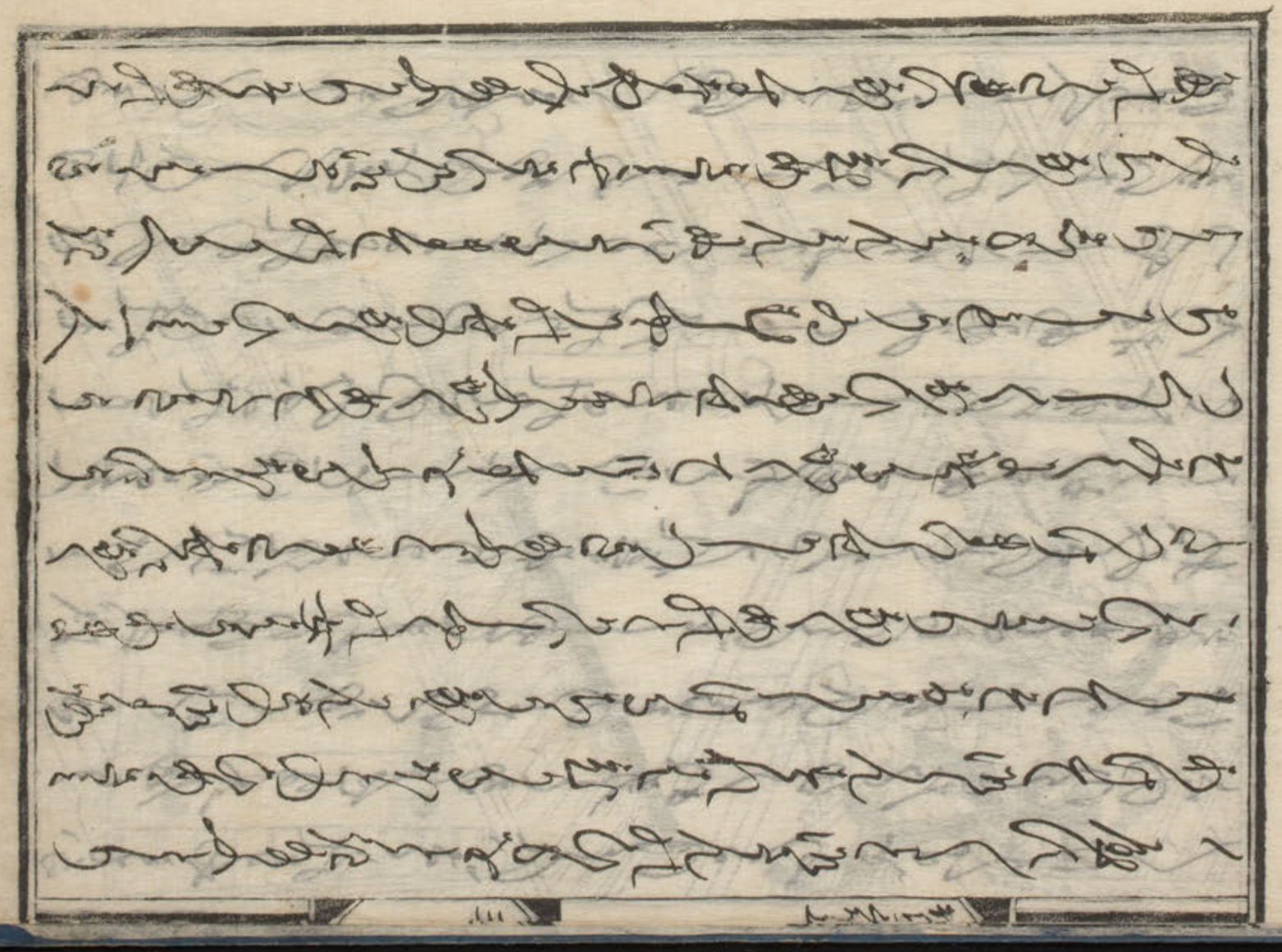
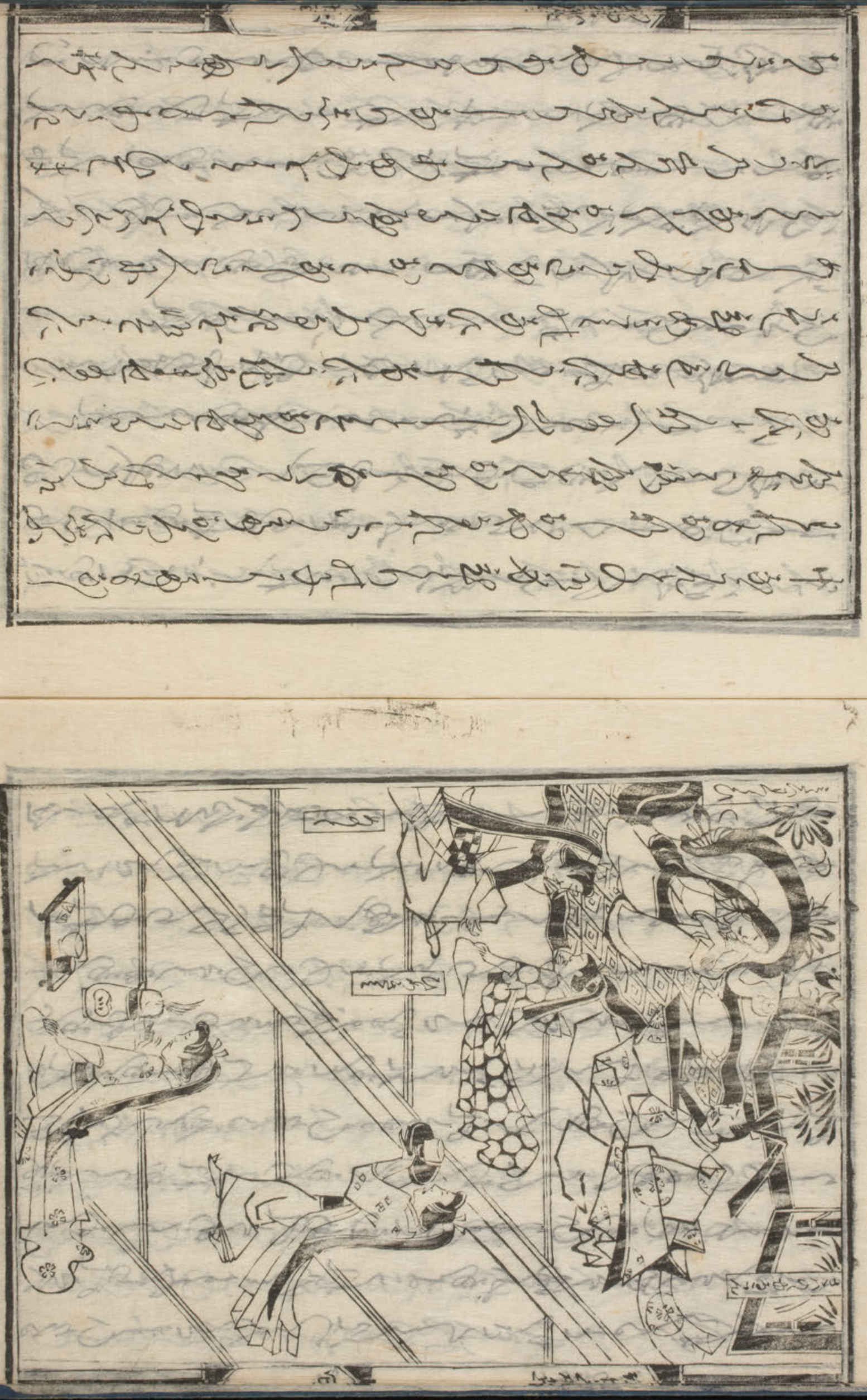
ちくさの巻
上



ぶどうこうれうこうたう
ぶたうこうれうこうたう
乃ちうんかんまつかう
ゆみをとこびてこまれ
もしめこやうれうこうあ
とのてのかこれとりれ
こうこれうこうたうを
れこまつかりひこう
しこうこうこれめこび
うこうこうこうこうあ
ぶたうこうこうたを
こうこうこうこうを



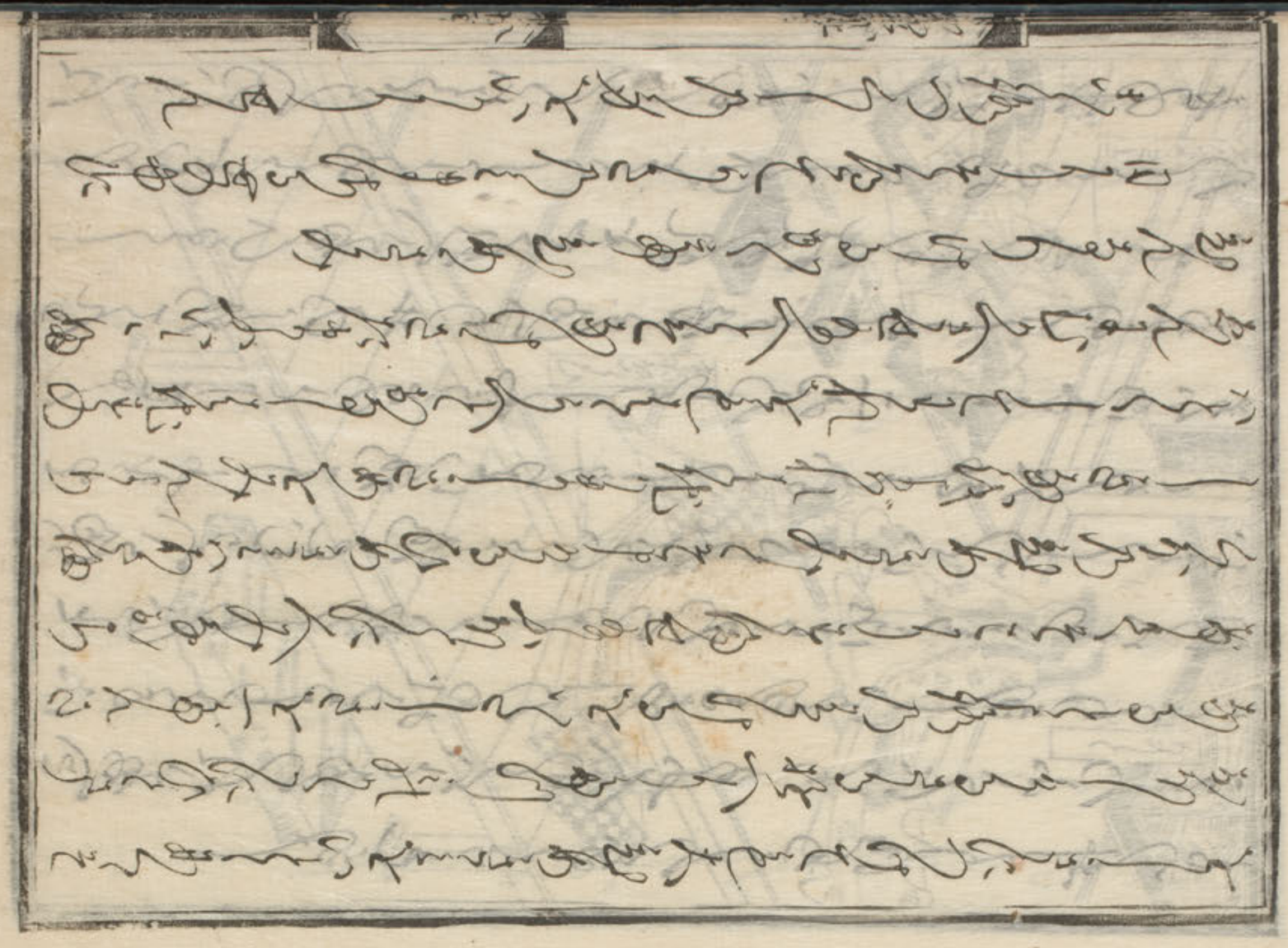


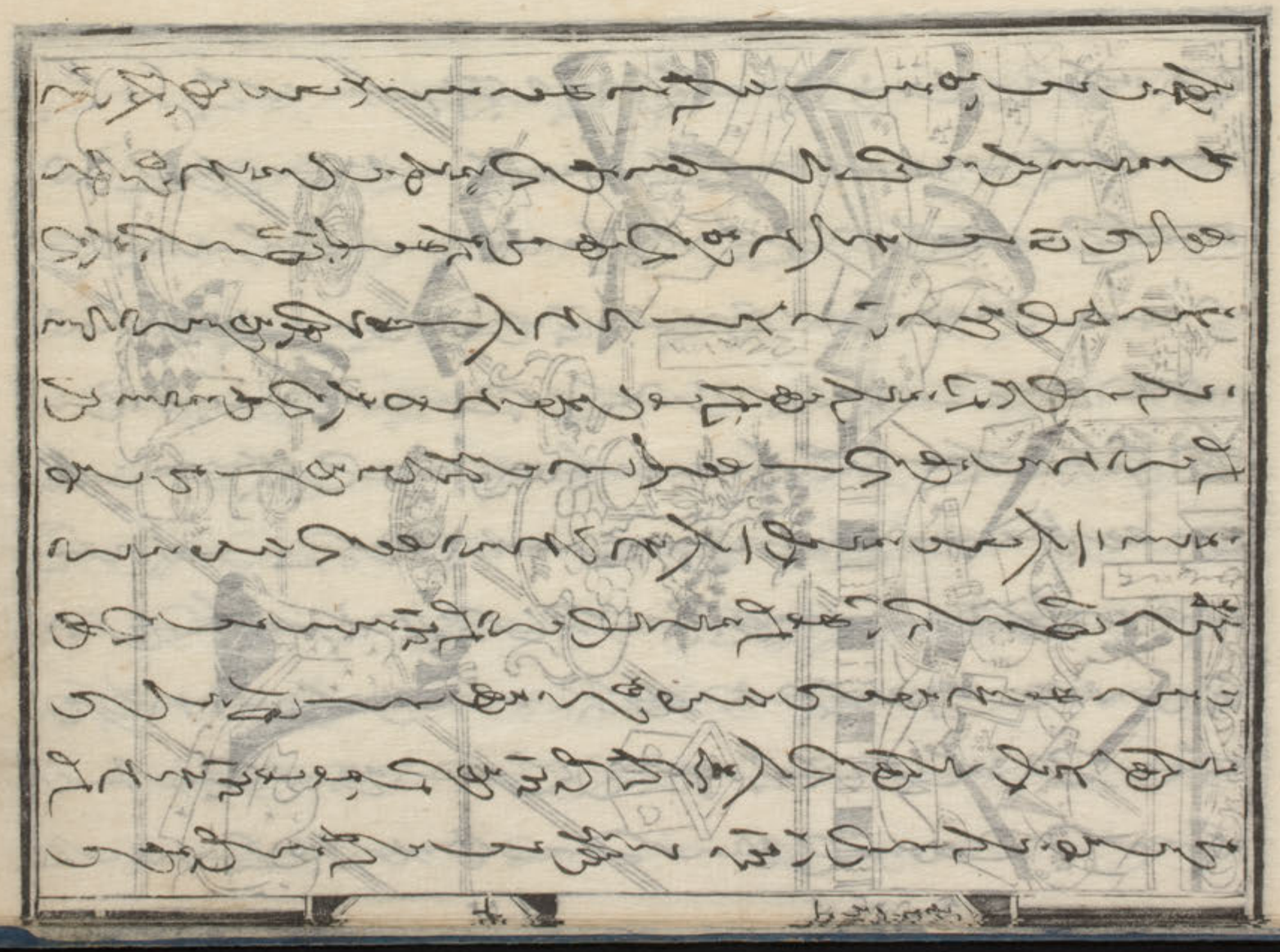


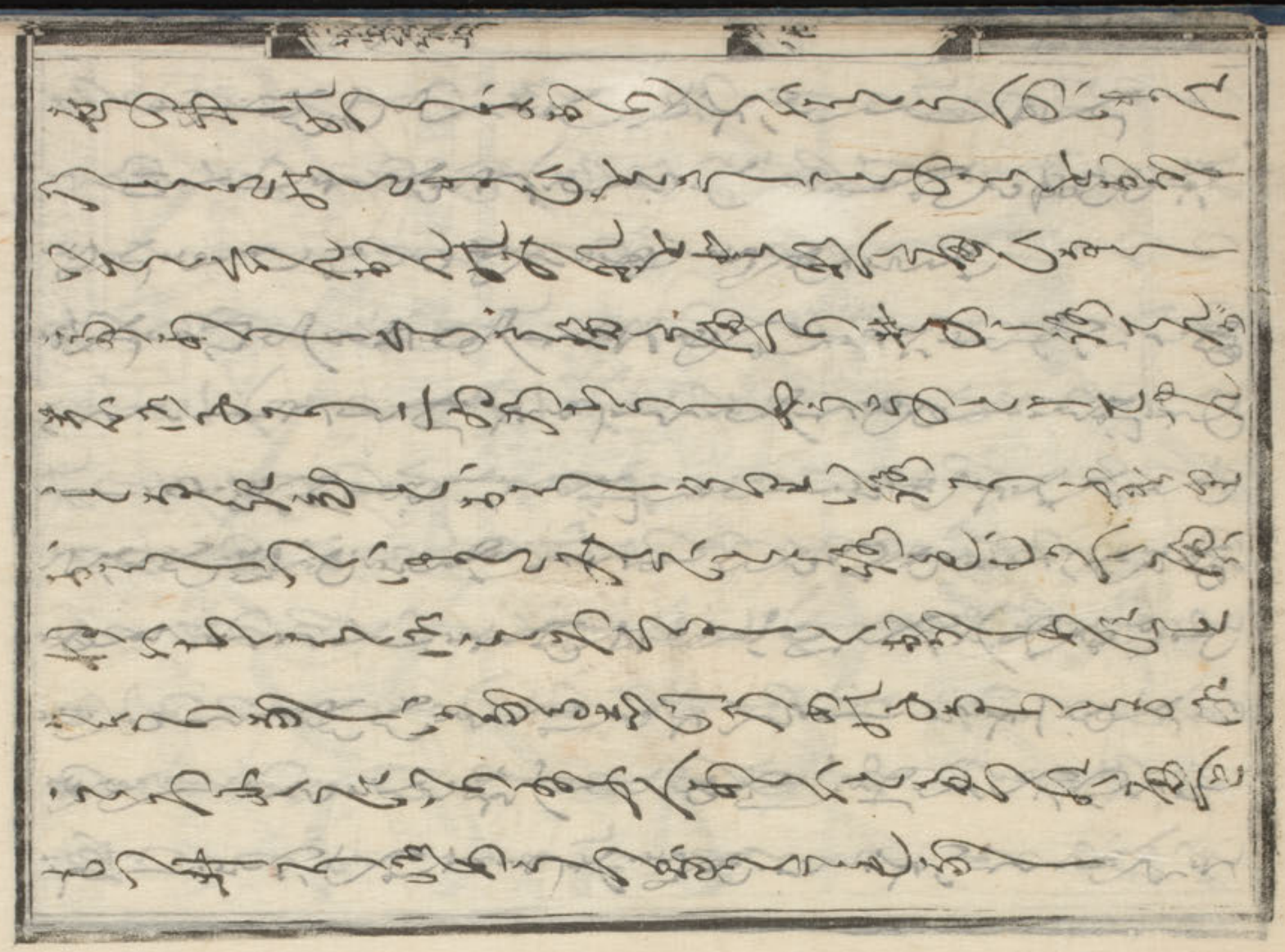
もゝしともみのうちすしなからもそむ
なしくなりんにしもおもひいれつゝなりん
わとりしるもまれとこひしくおもはん
はひらんおんのれゆへりてかちのみこ
いかりてさへといふものをはむせ
ひさしきのゆへしくことのさまひられ
ともりまるれいてもしわをやすく
いかりなれかくしのなかれん
とおいつくなむわかさくしさへてつる
りむかしくるなのふまてあられなりしひめ
こそくはれしくはいてもつされくなすてあかき

わかくれはたゝよそのやとのよるてはことられ
きのそのはことらすなんはおもひちら
りしとものへられさゆへてもりひかりてひ
めさきのかくすゑのにおもひ風のれなをあ
これなりゆくなまめきなつるれみ紀身とありら
らへとし月ともくしのふかくにさそしと
あくねつくあれも内さされくさともゆへ夜
ありまねさみれいてとしれもらへかこう
あらうしけふのくさまひおかしとさすれい
うくおかしめしの紙をつけていとそ
あのひあはしさりせもしもあそこしこく

みのひとりものあらそひてこそ
たまひをうちかけうちかけ乃まきあらそふ
れあらそうもこゝろゆくてあんにもあらあ
ましもあらんにつけてつくづくあつ
まものあうしてとさうしかりていつしかと
色ばなたちあんにうようの氏かとうせ
あてもりるるまこうきうけうとさそうつ
くうしこうしめうしはあうしあそこ
てもうしをあるゆかうをるうしあそこもか
しつれもめもこれもんもそもうりつる
つるあうあうしたまふそとそれ

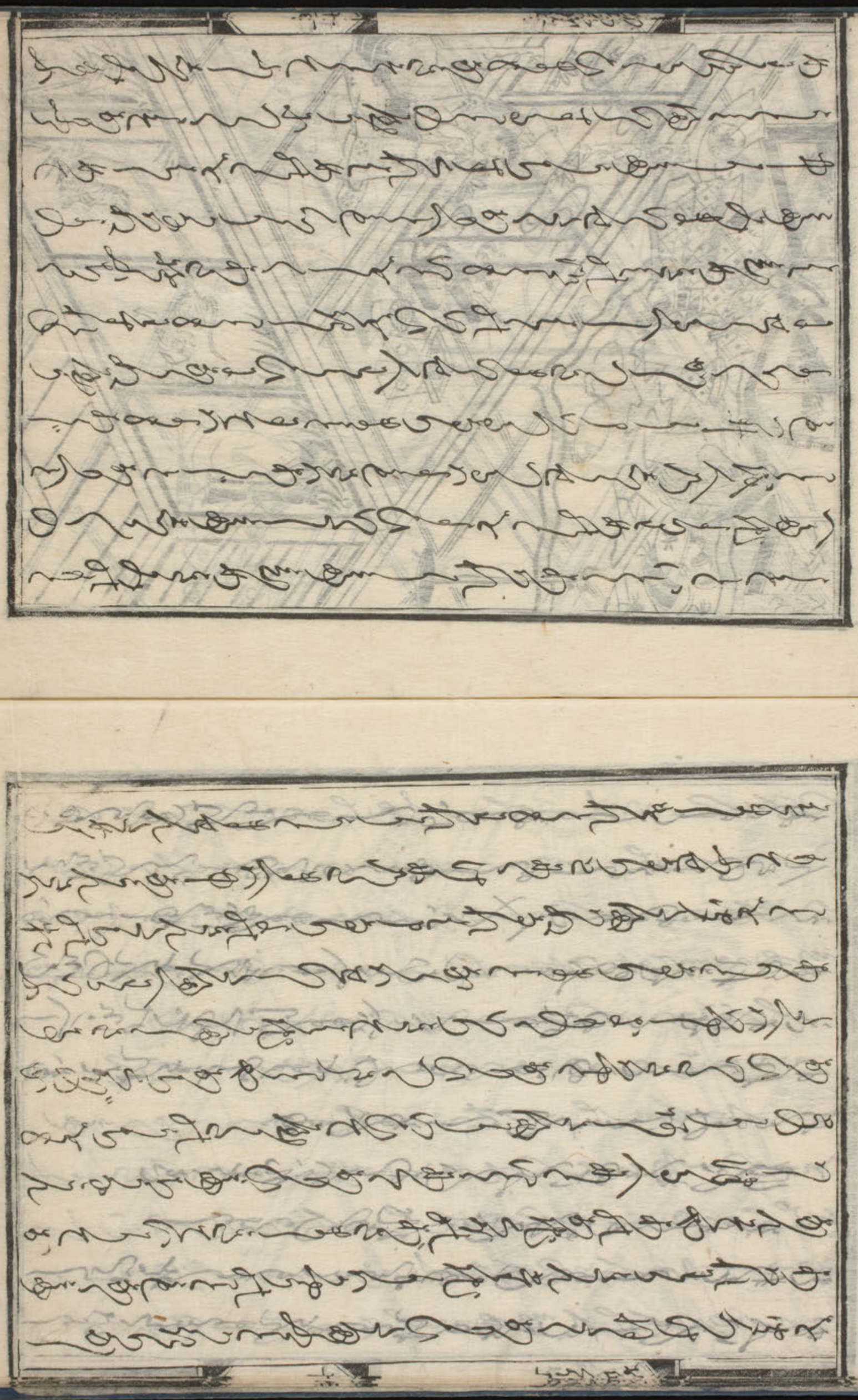


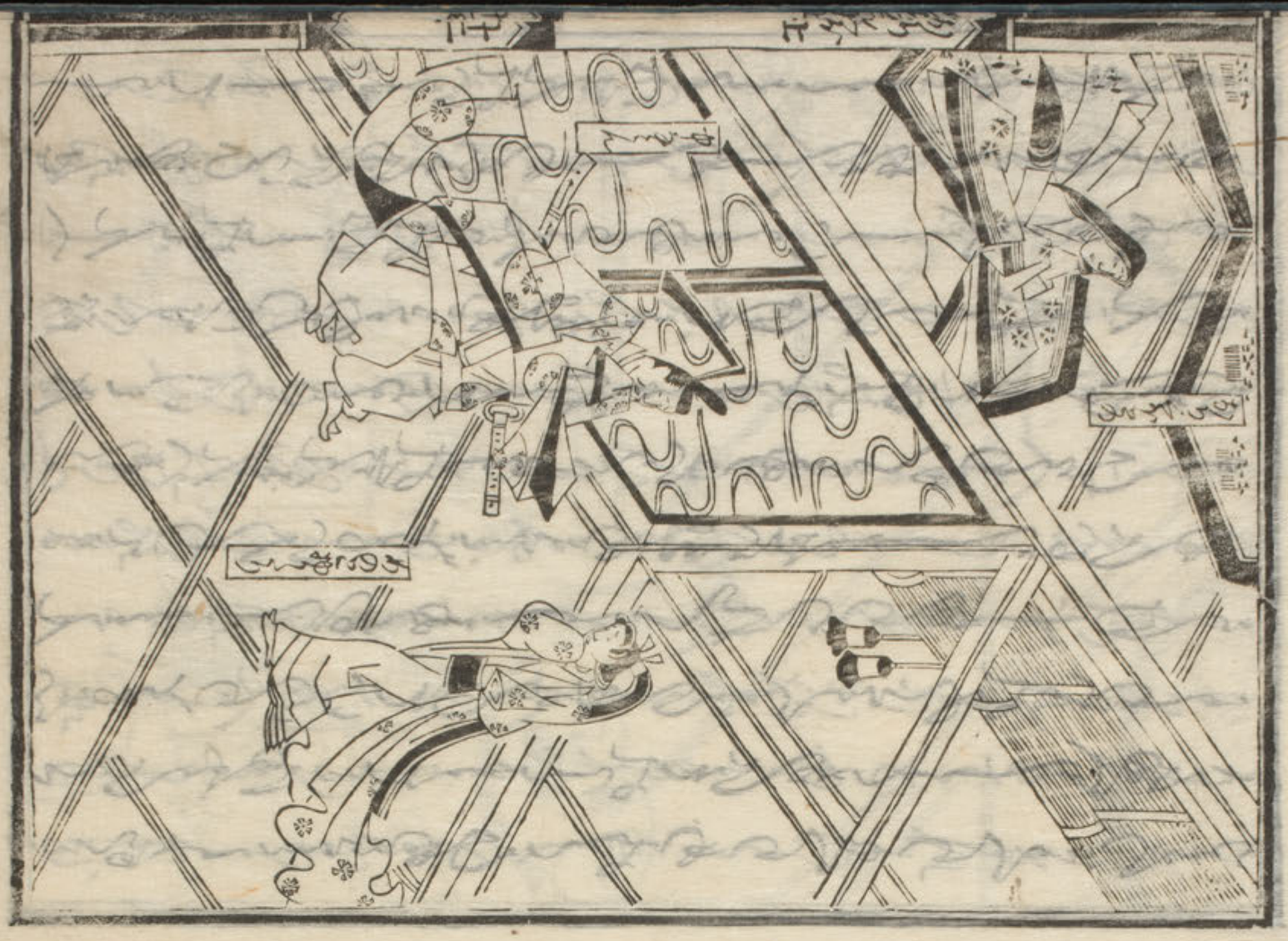


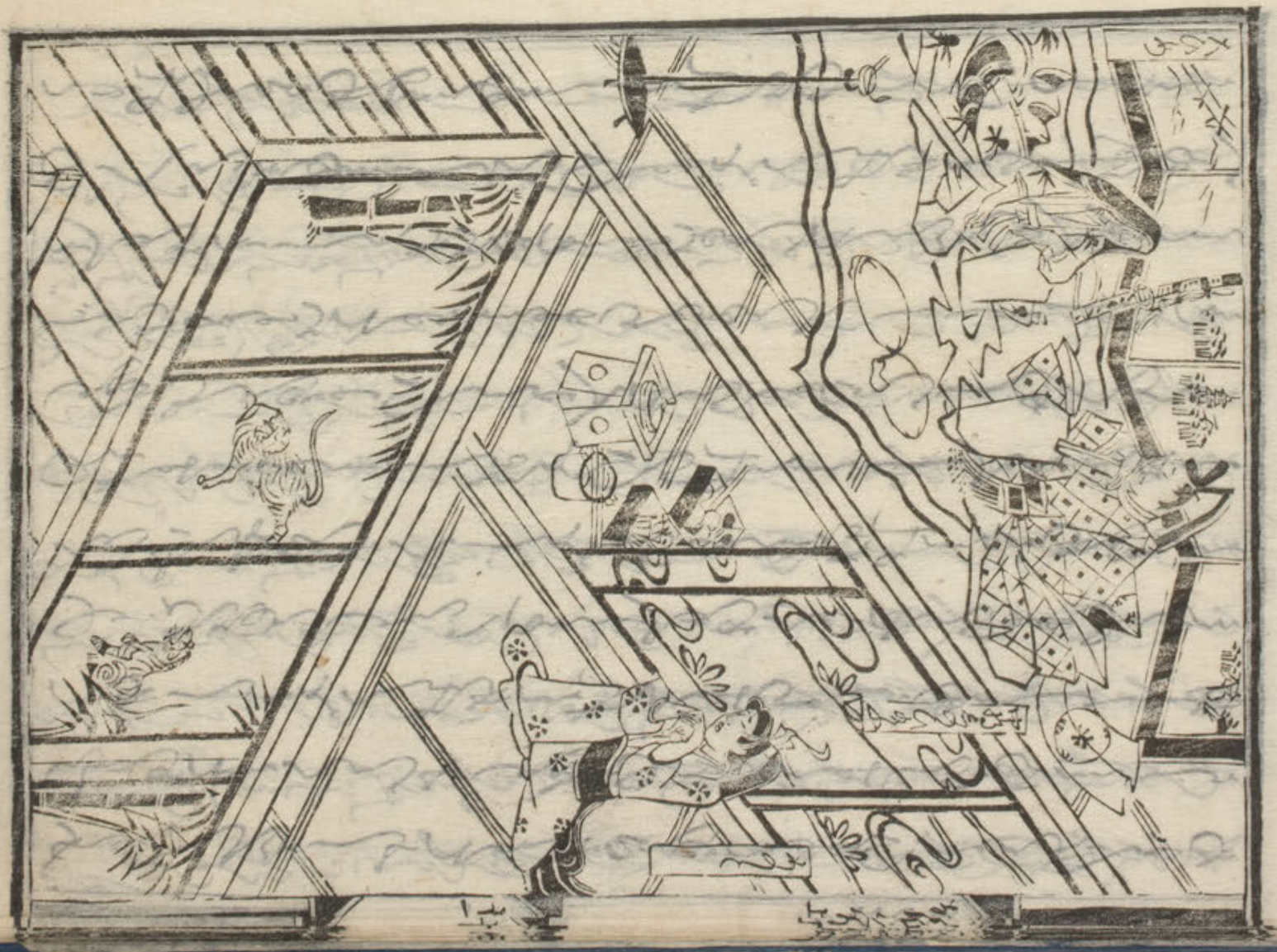


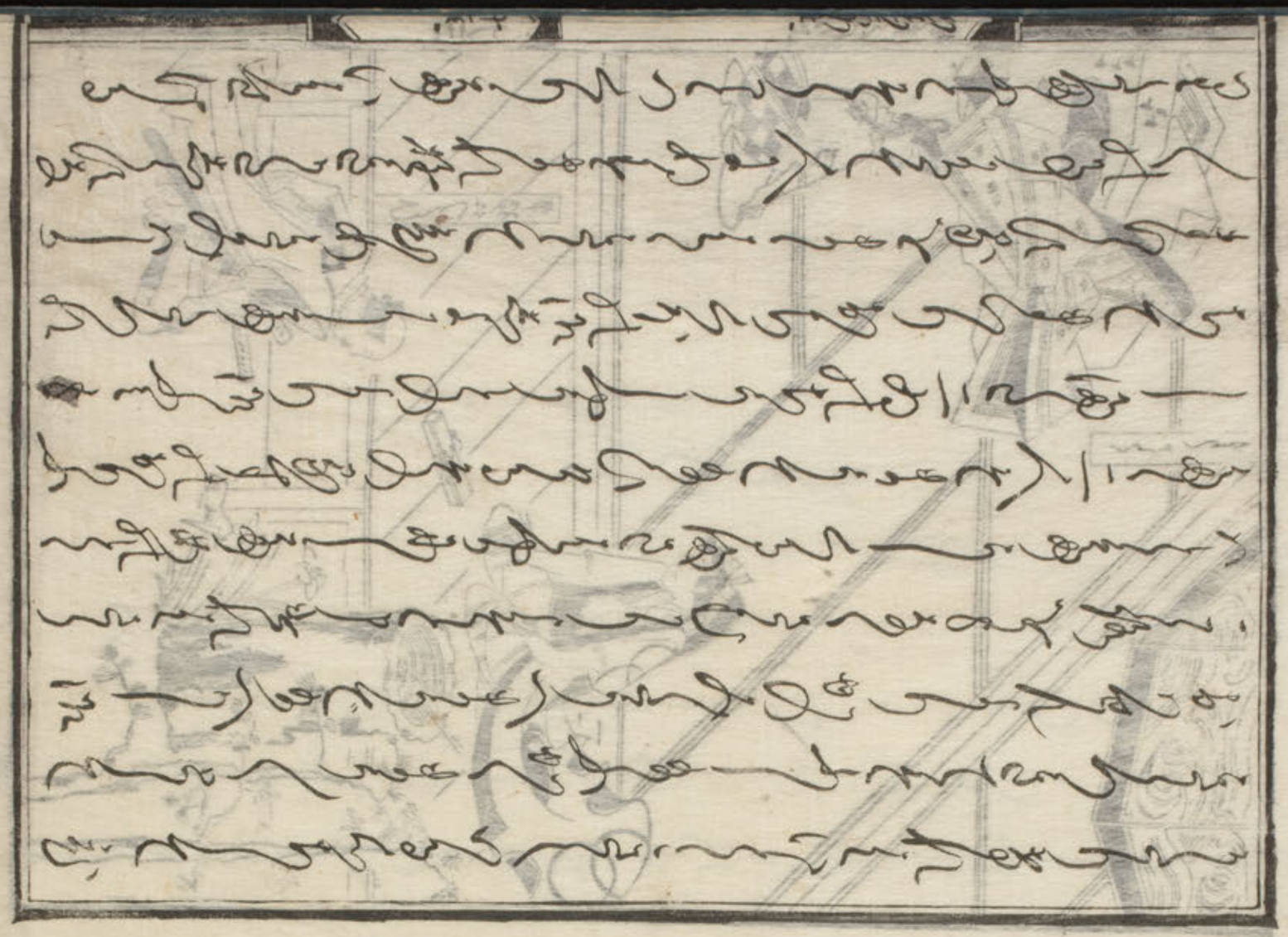
ちうあうえんせん大ぜんあきみやうにとをれさ
あるりうえんどのたまはうあうどうぜのおらを
がれけうさうまつりめしたにちうつさけうて
とまつをせうひめうさこそうそうそうさまうふ
ようふかうれこうれうんてどうあるあ
しうこうけうくこうえつくうれう
みうとこうひうさうけうさとをする
ぜめうこうをのまれつうようこのあちうさあ
くあうりうえんまうるうきうれうこへあん
いうこうれうさうこうらうんこうつあて
ひれうりこうたまうあうとうけうらいこへ

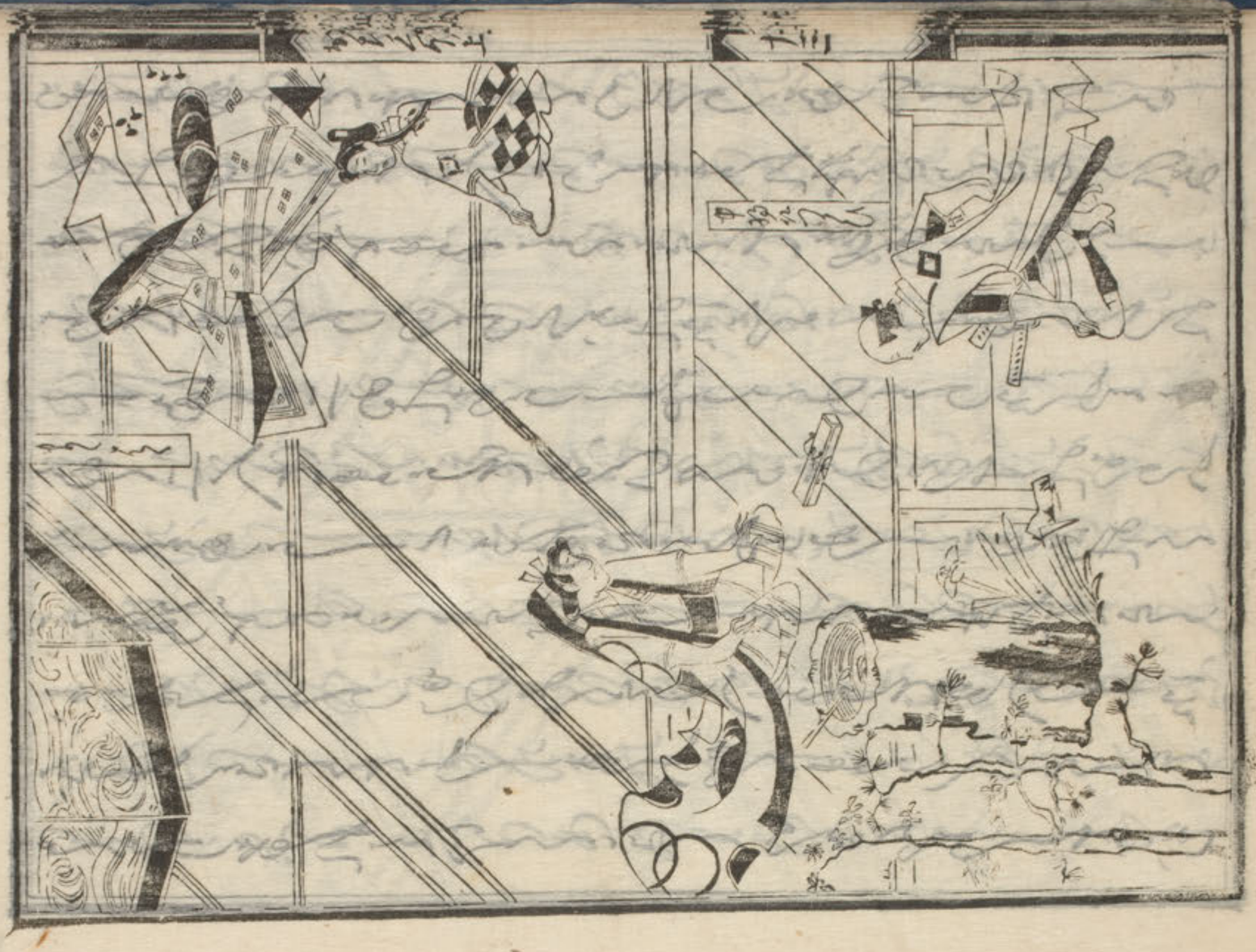
あうこうくうりうこあうのかうまうれうもうあ
んうのくこうこうめうしのうかうあけこ
こうこうあうまうこんくおうこうまけあ
まうれうさをのかこうもひうこへうえんとんのけひ
こうあうをしこうあれうりこへうくこへうまりてあでれけうへ
あれうしこうあうまうこうみうとうまりうとれこを
あうこうみいこうこうりうこうまんこあ
明にあうこいうあうひあうの花こうこう
こうこうこうこうもうかうこうれうひうこう
こうあうこうこうこううこうあうあうこうこうこう
のあいうんにうこうこうれうこうんまうこうひう











110X
477
2